

鷹栖町の沿革

明治	2年	蝦夷地を北海道と改め、11国86郡を設ける	
	19年	「国見の碑」近文山に建立（昭和41年旭川市文化財史跡指定）	
	24年	近文原野に埼玉県人小暮桑太郎が移住	
	25年	2月4日 鷹栖村開村 石狩川右岸の旭川近文地区・東鷹栖・江丹別の他、愛別町・比布町・上川町を含む広大な流域	
	26年	山崎千松が水稻試作に成功	
	27年	前年の岩手県団体のほか、山梨・石川・徳島・広島各県の団体移住、田中・宮腰・松平の各農場が創設され移住が活発となる	
	28年	鷹栖村戸長役場が1線9号に開設	
	36年	近文土功組合設立	
	大正	10年	電気利用組合を結成
		13年	鷹栖村を東鷹栖と改称。東鷹栖・鷹栖・江丹別の3村に分割（村役場を10線10号に設置）
昭和	22年	村長公選となり、初代村長に栗林由松 鷹栖第一・第二中学校創立	
	23年	鷹栖・北野農業協同組合設立	
	27年	鷹栖高等学校（定時制）創立	
	35年	商工会設立	
	36年	体育協会・文化協会創立	
	42年	旭川から導水し上水道給水開始	
	44年	1月1日 町制を施行	
	47年	大成地区集落再編事業実施	
	50年	総合健康診査始まる	
	51年	オサラッペ川が国直轄河川に	
	52年	現在の役場庁舎が移転落成	
平成	53年	郷土資料館開館 北野神社獅子舞を町文化財民俗に指定	
	57年	郷土誌「オサラッペ慕情」発刊 丸山に「句碑の森」創設、初願碑	
	59年	「治水の碑」を町文化財史跡に指定	
	4年	開村100年式典実施	
	6年	メロディーホール落成	
	11年	サンホールはびねず（福祉）落成	
	14年	統合で鷹栖小・北野小2校体制に	
15年	資料館に「国見の碑」ジオラマ		
令和	24年	旧第二中に農機具類を整備展示 新郷土たかす第50号記念号を発刊	
	30年	鷹栖地区住民センター「ふらっと」改築 鷹栖町図書室リニューアル	
	元年	町制施行50周年／鷹栖町文化財マップ作成	
6年	馬の装飾用具及び関連資料が国の登録有形民俗文化財に登録決定		

鷹栖町郷土資料館

【住所】北海道上川郡鷹栖町南1条1丁目

【電話】0166-87-3028

【開館日】毎週水・土曜日

【開館時間】

4～9月：午前10時～午後5時

10～3月：午前10時～午後4時

※平日のみ鷹栖町教育委員会でもお問い合わせを受け付けています。

電話：0166-87-2028

記念スタンプ



町の歴史を詳しく紹介
鷹栖町ホームページ

旬な話題を提供！
鷹栖町フェイスブック

古からの時を超えて響く、壮大なロマン。

鷹栖町郷土資料館

